

生涯現役！ラグビー青年 熊谷不惑倶楽部



メンバーは40代（白バン）9人、50代（紺バン）9人、60代（赤バン）11人、70代（黄バン）5人。不惑チームの国際規定として、バンツの色で年代が分かるようになっている。



11/2埼玉不惑大会にて、60代と70代ラガ二の真剣勝負!!

毎週日曜（試合日除く）の午前、荒川緑地にて練習しています。
メンバー随時募集中！特に白バン求む！
お問合せは副主務の島川さんまで。
TEL 080・3517・7355

熊谷不惑倶楽部（通称・熊惑^{ゆうわく}）は、昭和42年の埼玉国体のラグビー試合開催や、ラグビースクールに尽力してきた、不惑（40歳）以上のラグビー愛好家たちが集まって、昭和51年に発足した。熊谷商業、熊谷工業のOBが多かったが、未経験者も増えてきており、50代で初めてプレーした人も。試合は月2回のペース。10月25日から27日の、ねんりんピック鹿児島大会には、埼玉県チーム代表として、熊惑から9名が出場した。

「勝ち負けよりも恥ずかしいゲームはやらないことが目標。それには普段の練習が大事です。走れないければボールに行けないですからね。そしてもちろん、ゲームの後の一杯も楽しみですよ」と会長の吉田嘉高さん（70歳）。40代の頃、60過ぎててもグラウンドを全力疾走し激しくぶつかり合う先輩達を見て「自分もこんなプレーが出来るようになりたい」と憧れたそう。「ラグビーはちゃんとやれば危険なスポーツではなく、何歳になっても続けられる生涯スポーツなんですよ」

ラグビーの精神は「One for all, all for one」。自分のポジションは責任持ち、ミスは皆でフォローし、固いチームワークが必要。信頼関係で結ばれた仲間が出来るのが魅力だ。

「楽しい人生を送るためには健康が一番！」と笑う皆さんだが、「歩けるうちはプレーできる！」と仰るカッコイイ熊惑メンバーには、『健康』は、問題なさそうだ！

(Y)